平成 28 年度の実組結果について

1 第 2 期京都市市民参加推進計画改定版に関する現状分析

(1) 概要

「基本方針 2 市民の市政への参加の推進」について現状分析を行うため、特徴的な 2 つの事業について、所管部署からのヒアリングを基に分析を行った。

当該事業の市民参加に関する効果的な手法や工夫等をまとめた報告書及びリーフレットを作成し、庁内及び市民に周知を行った。

(2) 報告書及びリーフレットの周知

ア 庁内への周知

- ・市長，3 副市長，各局長・区長等が出席する「市民参加推進会議」で報告
- ・庁内の各所属にメールで周知
- ・平成 29 年度新規採用職員研修で配布
- ・庁内のイントラネットに常時掲載

イ 市民への周知

- ・市役所や区役所，公共施設などに配架（合計 1,325 部）。
ただし，手に取られた数は不明
- ・京都市情報館及びポータルサイト「みんなでつくる京都」に掲載。
ポータルサイト閲覧数：140（5 月 31 日現在）

(3) 効果及び課題

市民参加に関する効果的な手法や工夫等を庁内に周知することができた。

一方，個別の事業の分析であり，分析結果を「基本方針 2 市民の市政への参加」の進捗管理に用いることは困難。

2 市民公募委員サロン

(1) 概要

京都市の附属機関等の市民公募委員を対象に，市民公募委員の意義などを学ぶとともに，他の市民公募委員と交流を行う「市民公募委員サロン」を 2 回開催した。

(2) 開催結果

ア 第 1 回

日 時：平成 28 年 9 月 13 日（火）午後 7 時～9 時

参加者：30 名

<内訳>市民公募委員 24 名 市職員（事務局除く）6 名

イ 第2回

日 時：平成29年3月15日（水）午後6時45分～9時

参加者：21名

<内訳>市民公募委員16名 市職員（事務局除く）5名

(3) 効果及び課題等

ア 効果

参加者アンケートの中で、「参加しての心境の変化や抱負」という項目で、37名中27名の方から、参加して「会議で積極的に発言してこうと思う」、「他の附属機関の委員にもなりたい」「別の形で市政に参加したい」など、前向きな回答をいただいた。また、35名の方から「今後も参加したい」という回答いただいた。

イ 課題

37名中9名の方から「交流の時間がもう少し欲しい」という趣旨の回答をいただいた。

ウ その他

第2回目アンケートで、「市民公募委員になりたいと思っている人も参加できればいい」というアイデアをいただいた。